

# E S D 導入による環境学大学院の カリキュラム改革

2008年12月12日(金)  
E S D セミナー@エコプロダクツ展

岡山大学大学院環境学研究科  
阿部 宏史

## 岡山大学におけるE S D 取組の特徴

- ・ 環境関連部局を中心とする取組
- ・ ユネスコチェアの設置
- ・ R C E 岡山との連携
- ・ E S D による大学院教育改革
- ・ 海外との連携

### 1. 岡山大学の概要と環境学関連の学部・大学院

**<岡山大学の概要>**

- 経緯：岡山医科大学創立(1922年)  
岡山大学創立(1947年)
- 現況(2008年度)
  - 11学部 7研究科
  - 教員数 1,304名
  - 学生数 14,035名(学部・大学院合計)

**<環境関連の部局>**

- 環境理工学部(1994年10月設置)
  - 環境数理学科(数学系, 学生定員20名)
  - 環境デザイン工学科(土木・衛生, 50名)
  - 環境管理工学科(農業基盤, 40名)
  - 環境物質工学科(化学工学, 40名)
- 大学院環境学研究科(2005年4月設置)
  - 専任教員72名, 博士前期106名, 後期22名
  - 社会基盤環境学専攻(環境理工学部)
  - 生命環境学専攻(農学部・医学部・歯学部)
  - 資源循環学専攻(環境理工学部)



岡山大学正門付近



岡山大学津島キャンパス

### 2. 環境学研究科における専攻・講座の概要



【社会基盤環境学専攻】  
Division of Social Engineering and Environmental Management  
Department of Urban Environmental Development  
Department of Rural Environmental Management


【生命環境学専攻】  
Division of Biological and Health Environment  
Department of Environmental Biology  
Department of Environmental Health

【資源循環学専攻】  
Division of Sustainability of Resources  
Department of Waste Management  
Department of Resource Management

### 3. 環境学研究科における教育研究事業の展開

- 21世紀COEプログラム(2003年度~2007年度)  
「循環型社会への戦略的廃棄物マネジメント」  
→ 廃棄物分野における国際的研究教育拠点形成, 若手研究者の育成  
大学院環境学研究科設置(2005年4月)  
「アジアにおける環境学の拠点形成」  
・ 文理医融合による環境学の再構築  
・ 国際的に活躍する環境専門家の育成
- 魅力ある大学院教育イニシアティブ(2005年度~2006年度)  
「『いのち』をまもる環境学教育」  
→ 国際機関で活躍する環境専門家の育成  
岡山大学ユネスコチェア認可(2007年4月)
- 文部科学省特別教育研究経費(連携融合事業)(2007年度~2009年度)  
「地域発信型による国際環境専門家の育成プログラム」  
→ ユネスコチェアを活用したESDの国際拠点形成プログラム  
→ RCE岡山との連携によるESD推進と国際環境専門家の育成
- 文部科学省大学院教育改革支援プログラム(2008年度~2010年度)  
「アジア環境再生の人材養成プログラム」  
→ 循環型社会形成学と持続発展教育(ESD)の融合  
→ アジア環境再生特別コースの設置

### 4. 岡山地域のESD関連組織と事業展開



国際連携: 国連大学海外RCE, 国際理解教育, ESD, 環境教育, 小学校, 中学校, 高校

国内連携: 国内大学国内RCE, 多文化共生教育, RCE岡山, 世界遺産教育, 公民館, 町内会, 住民団体

学校連携: 岡山大学ユネスコチェア, 岡山大学大学院環境学研究科, エネルギー教育

住民連携: 岡山市京山地区ESD推進協議会, 京山公民館, 京山地区ESD環境D'z'et(岡山KEEP)

NGO連携: NPO法人岡山県国際団体協議会, 県内117団体, 平和教育, ジェンダー教育

社会連携: 岡山ESD推進協議会, 事務局: 岡山市, 社会教育

### 5. RCE岡山：地域におけるESD関連活動

岡山大学

- ▶ 岡山市環境パートナーシップ事業
  - ・ 2001年4月開始 (岡山市環境保全課)
  - ・ 2007年3月までに、841団体 (32, 076名) が参加
- ▶ 公民館を拠点とした環境活動
  - ・ 京山ESD推進協議会環境プロジェクト
  - ・ 高島旭竜地区エコミュージアム、など
- ▶ NGO、自治体による国際交流・貢献活動
  - ・ 国際貢献トピア岡山構想を推進する会 (OTIC)
  - ・ 岡山県国際団体協議会 (COINN)
  - ・ アジア医師連絡協議会 (AMDA)
  - ・ 岡山県国際貢献条例 (2004年制定)

環境点検 (京山地区)

公民館での環境集会 (京山地区)

岡山ESDプロジェクト (2005年4月開始)  
RCE岡山 (2005年6月認定, 世界初7カ所の1つ)

### 6. 公民館を拠点とするESD活動：岡山市京山地区

岡山大学

岡山市京山地区ESD推進協議会 (2006年7月8日設立)  
京山地区ESD環境プロジェクト (岡山KEEP)  
代表：池田満之

環境省「国連ESDの10年促進事業」2007年度採択  
「公民館を拠点とした学社連携・地域協働によるESDの継続的促進のための仕組みづくり」

http://www.env.go.jp/policy/edu/esd/activity/okayama/

岡山市京山地区ESD活動の様子

### 7. NGOの活動：おokayama国際貢献NGOサミット

岡山大学

国際貢献トピア岡山構想を推進する会 (略称「トピアの会」、OTIC)

医療、教育、宗教などのヒューマンズを尊重する岡山の人々の精神文化を活動理念として、NGO団体、とりわけ開発途上国のローカルNGOを支援することによって、国際的な視点から地域の活性化と発展を図ることを目的とし、1994年に設立された。1994年から毎年、「おokayama国際貢献NGOサミット」を開催している。

1996 Religion  
1997 Environment  
1998 Social welfare  
1999 Respect for Human  
2000 Education for Sustainable Future  
2001 Children's Summit  
2002 To Live as a Global Citizen  
2003 Decade for Education for Sustainable Development (DESD)  
2004 Education for Sustainable Development  
2005 Cooperation between Formal and Non-formal Education  
2006 Cooperation between NGO's and Universities towards Realizing a Sustainable Society  
2007 Kominkan Summit in Okayama  
-Community Development and Promoting ESD  
2008 NGO and Kominkan/CLC Summit 2008  
-Community, Food and Education for Sustainable Development-

NGOサミットのテーマ

岡山大学が共催

関連HP：トピアの会 <http://www.otic.jp/Goisatsu.html>, 岡山県国際団体協議会 <http://coinn.org/>

### 8. 岡山大学ユネスコチェア：目標と主要事業

岡山大学

UNITWIN/UNESCO Chair プログラム

1992年の第26回ユネスコ総会で採択された事業であり、高等教育機関における教育・研究を大学間ネットワークの中で推進し、国境を越えた知識の交換の促進を目的とする。2007年10月末時点で、125カ国168機関において630のUNESCO Chairと57のUNITWINネットワークが設立されている。

分野：Education, Natural Sciences, Social & Human Sciences, Culture, Communication & Information, Special Focus (Environment, HIV/AIDS, Human Rights, Lifelong Education, Gender and Women Issues, Youth)

<岡山大学ユネスコチェアの目標>

国連持続可能な開発のための教育の10年プログラムを受け、持続可能な社会を創造するスキルを備えた人材を育成することを目標とする。

- ① 国連機関等の国際機関で活躍できる国際環境専門家の育成
- ② 地域で持続可能な社会の実現を推進するための専門家の育成
- ③ 持続可能な社会構築に貢献する環境教育カリキュラム作成
- ④ 大学間ネットワークを通じた開発途上国の環境専門家への知識・技術の移転

岡山大学ユネスコチェアHP：<http://www.esd-okayama-u-jp/index.html>

The UNITWIN/UNESCO CHAIR PROGRAMME

海外フィールド実習

NGOサミット2006「ESD国際会議」

### 9. 岡山大学ユネスコチェアによるESD実践事業

岡山大学

ヨハネスブルグサミット (2002年)  
ESD：Education for Sustainable Development  
第57回国連総会 (2002年)  
ESDの10年 (DESD：2005年～2015年) 採択

「魅力ある大学院教育」への「イ」 (平成17年度～18年度)  
『いのち』をまもる環境学教育  
・ 国際機関インターンシップ  
・ 海外フィールド実習  
・ 大学院教育実質化、等

岡山大学ユネスコチェア「持続可能な開発のための教育と研究」 (平成19年4月設置認可)

The UNITWIN/UNESCO CHAIR PROGRAMME

ESD実践

① 国際貢献への組織的・戦略的取り組み  
② 大学教育の改革

ESD国際会議  
ESD特別講義  
国際ESD実践事業  
地域ESD実践事業  
ESD教材開発、等

<養成すべき能力> 学習能力

- ・ 体系的な思考力
- ・ 持続可能な発展に関する価値観
- ・ 代替案の思考力 (批判力)
- ・ 情報収集・分析能力
- ・ コミュニケーション能力

### 10. 大学院教育におけるESD導入 (2008年度～)

岡山大学

<大学院講義へのESD導入>

<岡山大学ユネスコチェア>

- ① 客員教授の招聘
- ② ESD実務家の招聘
- ③ ユネスコ専門家の招聘
- ④ 国際シンポジウムの実施
- ⑤ ICTの整備と活用
- ⑥ 地域と連携した生涯教育・学習

(1) ESD特別講義の開講  
ESD特論Ⅰ (流域と水環境の持続可能性)  
ESD特論Ⅱ (砂漠地の持続可能な開発)  
ESD特論Ⅲ (持続可能な森林生態環境)

(2) 概論科目 (必修)  
・ 各専攻概論 (博士前期)  
・ 各専攻特論 (博士後期)  
第1回～第3回 (ESD関連講義)

(3) 環境学学外実習 (2単位)  
ESD実習, インターンシップ (国連大学, 公民館, 小中学校など)

